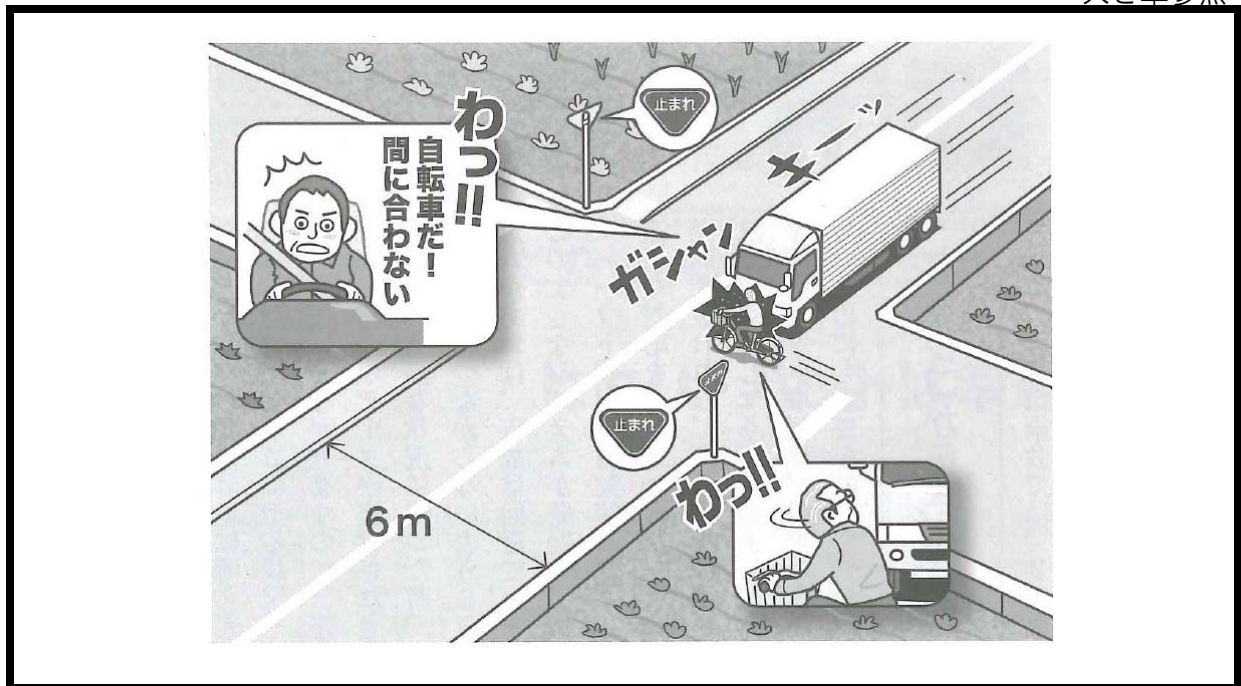


■事故の概況

人と車参照



事故類型：出会い頭

発生日時：午前中

当事者A：中型トラック 50歳代 男性

当事者B：電動アシスト自転車 90歳代 男性

■ 事故の概要

Aは往復2車線の優先道路を直進していました。交通が閑散としていたことから、時速50kmの速度規制のところを時速約60kmで運転していました。交差点を通過する際、Bが一時停止をせずに進入してきたことに気づき、ハンドルを右に切りながら急ブレーキをかけたが間に合わずBと衝突しました。

Bは毎日のように電動アシスト自転車を利用していました。慣れた道でもあるため、往復1車線の一時停止規則のある交差道路を、交差点手前で一時停止することなく交差点に進入しAと衝突しました。

■ 事故から学ぶ

Aは速度規則を守っていなかったため、Bの急な飛び出しに対応出来ず衝突してしまいました。事故を未然に防ぐためには、優先道路を走行していたとしても交通規則を厳守し、特に交差点にさしかかる前には交差道路からの車両の動きに注意して安全確認をすることが大切です。

Bはどんなに日常通り慣れた道でも一時停止規則を厳守し、確実に停止して左右の交通状況を確認した上で横断する習慣が身についていれば、事故を回避できたかもしれません。

また、加齢とともに身体機能は衰えていくため、若い時と同じ感覚で自転車を乗用していると事故の危険性は高くなります。電動アシスト自転車は、自分の体力・感覚以上にスピードが出やすくなるため、より慎重な運転が必要です。